



# 2月園だより

2024年2月  
尚徳福祉会  
沼袋西保育園  
園長

4日は「立春」、春の訪れを期待したいところですが、冬の寒さはまだしばらく続きそうです。今年もあっという間に、1ヵ月が過ぎました。時の流れの速さには驚かされます。速い(早い)ことが好まれる世の中で、じっくり物事に向かい合うことも必要に感じます。大人の速度や思いに合わせていくと、子どもたちの何気ない言葉や行動を見逃してしまいがちです。大人の立場から子どもを見つめるのではなく、子どもの目線まで下りて子どもを見つめる保育を心がけていきたいと思ひます。

今月と来月は各クラス懇談会を予定しています。保育園での様子をお伝えしながら、子どもたちの成長を共に喜び合えたらと思ひます。年度末のお忙しい時期とは存じますが、ご参加いただけますようよろしくお願いいたします。

## ☆2月の予定☆

- 1日(木) 避難訓練
  - 2日(金) 節分
  - 6日(火) 乳児身体計測  
交通安全大会(ゆり組)
  - 7日(水) 幼児身体計測
  - 8日(木) 0歳児健診  
あおぞら安全教室(ひまわり・ゆり組)
  - 14日(水) 3歳懇談会
  - 15日(木) 4歳懇談会
  - 16日(金) 5歳懇談会
  - 20日(火) 5園交流(ゆり組)
  - 22日(木) 0歳児健診
- ※5日、19日の月曜日、英語であそぼう(幼児組)

## ☆3月の主な予定☆

- 1日(金) ひなまつり・避難訓練
  - 4日(月) 乳児身体計測
  - 5日(火) 幼児身体計測
  - 6日(水) 0歳懇談会
  - 7日(木) 卒園を祝う会総練習・1歳懇談会
  - 8日(金) 2歳懇談会
  - 14日(木) 0歳児健診
  - 16日(土) 卒園を祝う会(ゆり組)
  - 21日(木) 5園交流(ゆり組)
  - 22日(金) 幼児お別れ遠足(幼児組)
  - 28日(木) 0歳児健診
- ※4日18の月曜日、英語であそぼう(幼児組)



## ☆お知らせ・お願い☆

○1/30日に最終メールでアンケートを送らせていただいております。アドレス登録されている方全員にメールを送っておりますが、回答についてはお子さま1人に対して、1つの回答をお願いいたします。2/9締め切りとなります。

○2月に幼児組、3月に乳児組の保護者懇談会を予定しています。詳しくは後日、別紙でお知らせさせていただきます。沢山のご参加お待ちしております。

○事務所前のアクリル扉が新しくなります。2/10(土)に工事を行います。引き続き扉の開閉は大人が行い、子どもの飛び出し防止の為に施錠のご協力をお願いいたします。

○2/6(火)は交通安全大会です。新入学児童のために〇〇警察署の方から交通安全のお話や映画、アトラクション(マジック・パントマイム・演奏等)を観て楽しみます。

○2/8(木)はあおぞら安全教室です。4・5歳が参加します。〇〇公園で〇〇警察署の方と「〇太くん」が、横断歩道の渡り方を教えてください。

○能登半島地震の被災地支援として、水とオムツを「オールこども石川」に送りました。園内に義援金BOXも設置しております。皆様のあたたかいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



○都合や体調不良によりお休みをされる場合は、当日朝9:30までに連絡を下さいますようお願いいたします。

# 「子どもに語らせること」が 国語の力、考える力を伸ばす

主婦の友社 3~6歳 能力を伸ばす 個性を光らせる  
東京大学名誉教授 汐見 稔幸

## 親が子どもの話を聞くことは 国語の力を伸ばす

国語の力を伸ばそうと思ったら、本を読むのが好きな子に育てるしかありません。そのためには読み聞かせとともに、「子どもに話をさせてあげること」も重要です。子どもがしゃべるのを、親が効いてあげることです。

「語ることが大好き」「聞いてもらうことが大好き」という子どもに育てれば、それがいつか、書きたいことがいっぱいある、しゃべりたいことがいっぱいある人間に成長していきます。

## 話を聞いて、 子供の理論づくりを手伝う

3~4歳になると、因果関係が理解できるようになるので、絵本のストーリーもかなりわかるようになります。5歳くらいになると、因果関係について語れるようになります。「こうだから、こうなった」ということを説明しながら語れるようになるのです。

たとえば、子どもに起こったことを、「何があったの?」「〇〇ちゃんと遊んでいたの?」「それでどうなったの?」というふうに聞いてみます。

子どもは「あのね、こうしてね、こうしてね」とストーリーを語っているうちに、「〇〇ちゃんが〇〇しちゃったの、だからこうなっちゃったの」というように、因果関係が語れるようになってくるのです。

これは、思考能力のすばらしい芽生えです。

自分で「これが原因で、これが結果だ」とできごとを語れるようになるということは、ものごとの後ろにある因果関係や理論をしょうずに見抜けるようになるということ。これは、頭のいい子を育てる大事な方法です。

親は黙って聞いていないで、相づちを打ちながら、「それでそうしたの?」「だからこうなっちゃったのね、」「だからこうしてあげたのね」と、子どもの論理づくりを手伝ってあげます。このころは、そういう論理づくりが好きになる時期でもあります。

親はしょうず聞き役になってあげることです。語ることは国語の力、考える力を伸ばします。

